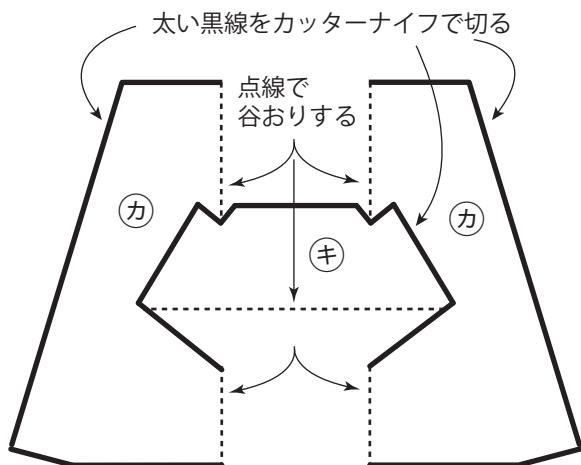


毎日1回まわすことで今日を大切にできます

A 裏面

立てるときは、(カ)の部分を谷おりして直角におこして、次に(キ)の部分を谷おりしておこして(カ)が固定するようする。

立てる部分

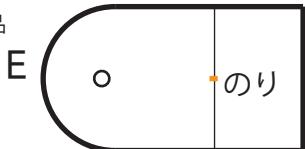


A 表面

ア

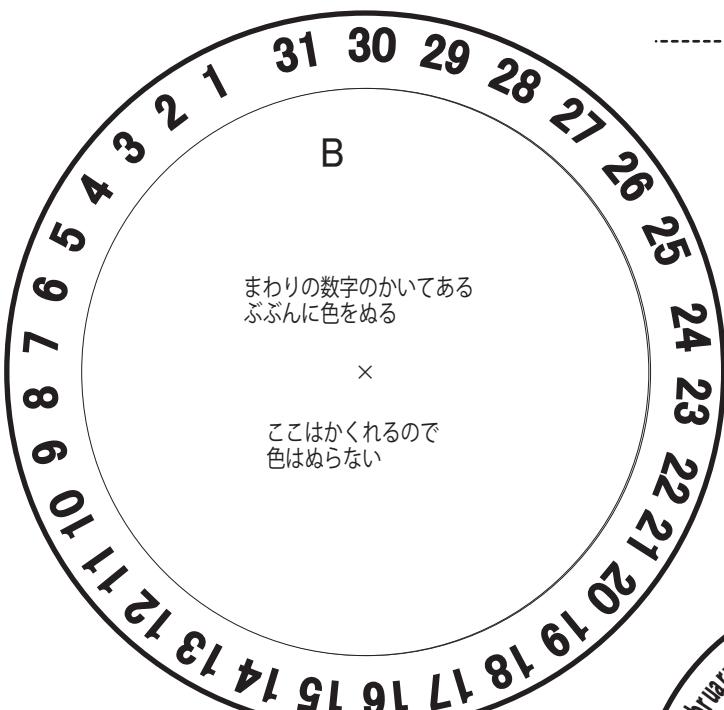


吊り下げるときにつかう部品
机に立てるときはいらない
組み立てが終わったら
のりをつけてAの(カ)の部分にはる



イ

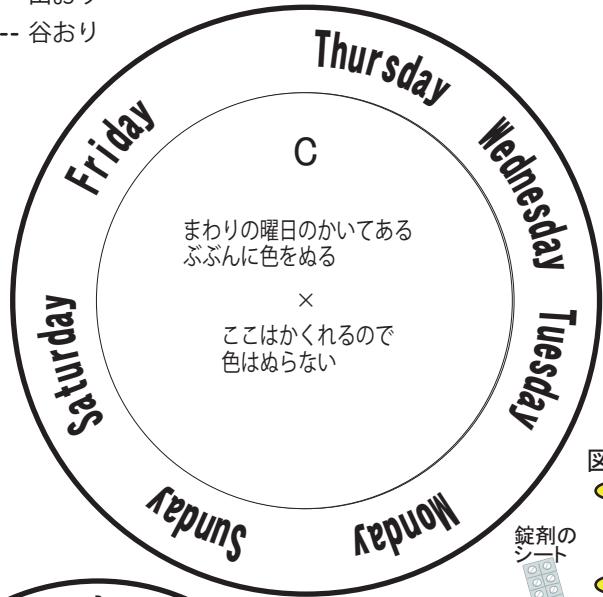
この部分は端まで使う
印刷すると用紙の
端まで線が印刷されないので
切るときに気をつけてね



----- 山おり
----- 谷おり

----- 山おり

----- 谷おり

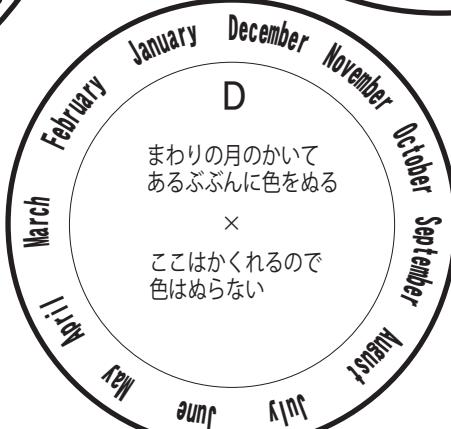


図①

図②

A表→B→C→D→A裏

わりピンがないとき
つまようじや竹串を軸に使う



つくり方

①Aの表面に好きな絵やイラストをかき色をぬる 日にち曜日月の
周りの文字の部分に色をぬる ②点線に折りすじをつける

③A B C Dを切り取る ④Aの灰色部分をカッターで切り取る

⑤Aの立てる部分の太い黒線をカッターで切る

⑥Aを半分におり、 Aの表 × から裏へ穴をあけておく

B C D の × に穴をあけ A表→D→C→B→Aの裏の順で
わりピンにさしていき、 Aの裏でわりピンを広げる

⑦Aの表面の(カ)と(キ)の裏にのりをつける

山おりする。次に A の灰色部分(カ)の裏にのりをつけて山おりする。

⑧Aの表の(カ)の部分の裏にのりをつけ山おりして A の裏につける

⑨立てる部分のおり線でおり広げて立つようにして完成

※かべに吊り下げるときは⑨をつくらずにEを使う

家庭にある身近なものでつくれます。
薄いプラスチックや厚紙（薬を買った
時の錠剤のシート ストロー
紙箱 ダンボール ハガキなど）を
小さく切ったのを2つ作り穴をあける。
1つを図①のようにつまようじに通し、
カレンダー一部品 A表→B→C→D→A裏の順に
をつまようじに通す。
最後に図②のように2つめの部品を
つまようじにさして、 カレンダーが
回るようにする。
つまようじの余りを切りとる。